

～年末年始に向けた皆さまへのお願ひ～

冬場は救急医療も含め、医療体制に負荷がかかります。

特に年末年始は診療体制が通常とは異なります。

急な体調不良やけがに備えて

チェック！

あらかじめ「救急車利用マニュアル」を確認しておきましょう。

救急車利用マニュアル



どのような場合に救急車を呼んだ方がよいか、詳しく記載されています。（「救急車利用マニュアル」総務省消防庁）

突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!



迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう！

※発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来／かかりつけ医／地域外來・検査センターを受診しましょう。

※さらに、119番通報などの判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口（#7119等）にご相談下さい。

※救急車利用マニュアルには、高齢者のほか、おとな、こどもそれぞれの救急車を呼びべき症状や救急車の呼び方などが分かりやすく記載されています。

必要なときは救急車を呼ぶことをためらわぬでください。

救急車の利用を迷ったら

かかりつけ医がいる場合
小学生以下の子どもの場合

かかりつけ医にご相談ください。

特に、子どもの場合は、症状は年齢などによって様々です。機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てずに様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。

受診を迷った場合
夜間や休日の場合

電話相談窓口などをご利用ください。

受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、#7009（救急電話相談）、#8000（こども医療相談）や「こどもの救急」等関係Webサイトなど



（都道府県の電話相談窓口や「救急車利用マニュアル」など厚生労働省ポータルサイト）

この冬は、ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を



新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

感染が拡大する前の接種をご検討ください



・新型コロナワクチンの接種

新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。



・インフルエンザワクチンの接種

65歳以上の方などの定期接種対象者で、

接種を希望される方は早めの接種をお願いします。

(新型コロナワクチンについて)

(インフルエンザワクチンについて)



発熱などの体調不良時にそなえて、 早めに購入しておきましょう

・新型コロナ抗原定性検査キット

・解熱鎮痛薬

かかりつけ薬剤師・薬局にお気軽にご相談ください。



(市販の解熱鎮痛薬について)



(受診・相談センターについて)



あわせて確認しておきましょう



・電話相談窓口などの連絡先

受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など



(救急車利用マニュアルについて)

その他、生活必需品なども用意しておきましょう。
(体温計・日持ちする食料（5~7日分）など)



国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを選びましょう

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。



医療用



一般用



研究用



国が承認した検査キットの一覧



(一般用)

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方

(高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など)・

小学生以下の子どもと保護者の方へ

感染が拡大する前の接種をご検討ください



・新型コロナワクチンの接種

新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。



(新型コロナ
ワクチンについて)

・インフルエンザワクチンの接種

65歳以上の方などの定期接種対象者で、

接種を希望される方は早めの接種をお願いします。



(インフルエンザ
ワクチンについて)

喉の痛みや発熱などの症状が出たら…

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方は

速やかに発熱外来（診療・検査医療機関）を受診してください。

新型コロナ抗原定性検査キットで陽性が確認された場合は、その結果を受診時に医師に伝えてください。



かかりつけ医がいる場合

かかりつけ医にご相談ください。

(受診・相談センターについて)

受診を迷った場合

電話相談窓口などご利用ください。



受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）など



(救急車利用マニュアルについて)



以下の項目や疾患に該当する方は新型コロナウイルスの重症化リスクが高いと考えられるため、早めに相談・受診しましょう。

65歳以上である 喫煙歴がある 妊娠している 肥満（BMI30以上）

糖尿病 がん 慢性腎臓病 脳血管疾患 慢性呼吸器疾患（COPDなど）
 高血圧 脂質異常症 心血管疾患 免疫機能の低下の可能性がある

小学生以下の子どもは

かかりつけ医はじめ地域の小児科医などにご相談ください。



特に、子どもの場合は、症状は年齢などによって様々です。

機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てずに様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。



(救急車利用
マニュアルについて)

受診を迷った場合
夜間や休日の場合

電話相談窓口などご利用ください。



「救急車利用マニュアル」、「子どもの救急」等関係Webサイトの参照や
#7119（救急要請相談）、#8000（子ども医療相談）など



(子どもの救急について)

2歳未満では新型コロナ、5歳未満ではインフルエンザ、基礎疾患のある子どもは年齢にかかわらず両方の重症化リスクがありますので、心配なことがあれば、予めかかりつけ医と対応を相談しておきましょう。



新型コロナウイルスの 重症化リスクの低い方へ

(高齢者、基礎疾患有する方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方)

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが
同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

流行時は、発熱外来の予約が取りづらくなります。
重症化リスクの高い方を守るため、
健康フォローアップセンターをご活用ください。

喉の痛みや発熱などの症状が出たら…
まずはご自身で新型コロナ
抗原定性検査キットで検査してください。

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。

国が承認した検査キットの一覧



陽性だった場合は、地域の健康フォローアップ
センターに登録して自宅療養をお願いします。



- ・体調変化時には、健康フォローアップセンターにご連絡ください。
- ・検査キットの結果が陰性でも新型コロナやインフルなどに感染している場合があります。感染拡大を防ぐため、体調不良が続くときは、自宅で療養をお願いします。



受診を迷った場合

電話相談窓口などをご利用ください。

(受診・相談センターについて)

受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の
参照や#7119(救急要請相談)、#8000(こども医療相談)など



症状が重いなど受診を希望する場合

受診・相談センターに相談し、
かかりつけ医・発熱外来の受診や電話診療・オンライン診療をご検討ください。

(救急車利用マニュアルについて)



新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします



ひとくらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



(厚生労働省 相談窓口)

